

輸送動向について(平成18年度第1 - 四半期)

平成18年7月

1. 輸送概況

第1 - 四半期の運転状況は、4月に福島県から首都圏にかけての強風、また6月に入ってからは大分県中部地方を震源とする地震、及び九州・中国地区の大雨など自然災害による輸送障害が発生した他、山陽線幡生駅での機関車脱線事故等もあり、これらの影響で高速貨116本、専貨2本が運休した。

荷動きについては、ゴールデンウィーク期前後に需要の盛り上がりがあったものの、全般的にはやや弱含みで推移し、輸送量全体では前年比99.9%となった。

コンテナ貨物では、清涼飲料水が大きく減送となった食料工業品の他、積合せ貨物等が前年を下回ったものの、車扱からコンテナ化した紙パルプ等をはじめ、北海道地区からの政府米の出荷が好調であった農産品、ならびに自動車部品などが前年を上回り、コンテナ全体では前年比102.9%となった。

車扱貨物では、石灰石及び化学工業品が前年を上回ったものの、一部区間で輸送終了となったセメントや重油を中心に減送となった石油などが前年を下回り、車扱全体では前年比94.9%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	1 - 四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,590	5,434	102.9%
車扱	3,065	3,229	94.9%
計	8,654	8,663	99.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品	307	285	22	107.7%
	生野菜青果物	127	116	11	109.5%
	化学工業品	533	528	5	100.9%
	化学薬品	428	421	7	101.7%
	食料工業品	859	884	-25	97.2%
	紙パルプ等	951	866	85	109.8%
	他工業品	402	390	12	103.1%
	積合せ貨物等	643	645	-2	99.7%
	自動車部品	168	150	18	112.0%
	エコ関連物資	105	94	11	111.7%
	その他	1,065	1,055	10	100.9%
	コンテナ計	5,590	5,434	156	102.9%
車扱	石油	1,961	2,006	-45	97.8%
	セメント	150	264	-114	56.6%
	石灰石	191	162	29	117.5%
	車両	323	334	-11	96.8%
	紙・パルプ	91	139	-48	65.6%
	化学工業品	150	127	23	118.6%
	その他	197	196	1	100.2%
車扱計	3,065	3,229	-164	94.9%	
合計	8,654	8,663	-9	99.9%	

車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値